

自転車は車のなかま！ 左側通行！



OSCN

2015年 9月13日(日)

キープレフトアクション



☆ キープレフトアクション レポート ☆

場所 スカイワードあさひ&尾張旭市内

白バイ先導 尾張旭市内啓発走行 と シンポジウム「自転車走行空間と交通教育の未来」

7/1～11/1の4ヶ月間、キープレフトアクションと題して、自転車による交通安全啓発活動を行っています。そのメインイベントとして、9/13(日)に白バイ先導啓発模範走行と、シンポジウム「自転車走行空間と交通教育の未来」を、尾張旭市のシンボルタワーである“スカイワードあさひ”を中心に実施致しました。当日は、尾張旭・瀬戸・名古屋・長久手・春日井・日進の各地域から約60名の皆さまにご参加頂きました。この啓発活動は、尾張旭市内でも多く見られる「自転車利用者による車道の逆走・右側通行等の危険走行の現実」を踏まえ、「交通ルールとしての車道の左側通行」を呼びかけることにより、状況改善を目的としています。シンポジウムでは、交通評論家の矢橋昇さんをはじめ、学校教育関係者・国の機関での自転車に関する施策経験者・警察官・行政職員・元プロ選手・自転車メーカー等の方々にお集まりいただき、「望ましい自転車の走行空間」と「必要とされる交通教育」について、様々なご意見を頂きました。参加者の方々からは、「今まで考えたことも無かったけれど、現状を知ることの重要性や交通教育の必要性に気付かされた」というご意見や、熱心な質問やご要望を伺うことができました。また、シンポジウム後は、交通少年団との合同啓発活動も実施致しました。

2015年9月 OSCN 事務局

※ キープレフトアクションは、全ての自転車利用者を 現状の車道空間に移すことを目的とはしておりません。



☆ OSCNとは・・・

私たちOSCNは、尾張旭市を中心に、自転車の有効な利用方法や子どもや大人への安全講習会等をおこなう市民活動です。OSCNとは、Qwariasahi Safety Cyclists Network 尾張旭・セーフティー・サイクリスト・ネットワークの略称です。自転車の利用者に、操縦技術面や交通知識面を含めた効果的な安全指導やマナーの徹底の機会を、児童・生徒や大人の方々に向けて、提供しています。

OSCN事務局(代表:片山) 0561-52-3134 katayama@ams.odn.ne.jp



自転車は車のなかま！
キープレフト アクション！



(上) 尾張旭市 水野市長より、開催に際してのお言葉を頂きました。交通教育や啓発運動への期待と、尾張旭市としての今後の自転車政策への意欲についてお話を頂きました。

(右) 13名の啓発模範走行参加者。スマートバイクですね！



(上) パネリストの皆様方からのお話 (写真左より)

- ・愛知県守山警察署 交通課 中野 靖 様 (周辺交通状況について)
- ・元 MTB プロレーサー 柳原 康弘 様 (公道走行を体験して)
- ・尾張旭市役所市民活動課 秋田 芳忠 様 (自転車施策への取組)
- ・商業デザイナー 寺尾 正継 様 (交差点デザイン提案)
- ・交通評論家、公共交通マナー育成塾 矢橋 昇 様 (世界と日本の交通事情)
- ・尾張旭市 教育長 玉置 基 様 (自己責任と交通行動)
- ・前 環境省中部地方環境事務所所長 池田 善一 様 (SBI での取組について)
- ・GIANT 名古屋スタッフ 小野 武 様 (顧客教育について)

(上) 模範啓発走行中の参加者。主要道を一列で左側通行。最後尾はパトカー。



(左) 「キープレフト アクション 出発！」尾張旭市 水野市長の合図で啓発模範走行スタート。白バイを先頭にスカイワードあさひを起点に尾張旭市内を走行。沿道では、カメラを構え、待っていて下さった方の姿も。応援感謝します！

(右) 未来を担う高校生も参加。乗り物文化の将来に期待。



シンポジウムパネリスト：矢橋昇・池田善一・玉置基・柳原康弘・小野武・中野靖・秋田芳忠・寺尾正継
 協力：守山警察署・尾張旭市（市民活動課）・尾張旭市教育委員会・GIANT名古屋・前原デンタルクリニック・ドバツツライノハウス
 矢橋昇事務所・YANS・尾張旭市交通少年団・まえまえくらぶ有志・愛知県教員有志・翠香書院・Cycling Team KATAYAMA
 協賛：GIANT名古屋 広報協力：ラジオサンキューFM84.5 協働：SBI・あいちエコモビリティ推進協議会
 後援：尾張旭市・尾張旭市教育委員会・環境省中部地方環境事務所
 助成：尾張旭市市民活動促進助成金 左側通行ステッカーデザイン：寺尾 写真：花木・片山 文：片山

